

出張報告

報告日 2024年7月29日

会派名	暮らしと笑顔
報告者氏名	池野里美
種別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用務	新潟県女性議員の会 総会、研修会参加
日時	R6/7/17(水) 13:30 ~ R6/7/17(水) 16:00
場所 (会場)	新潟県庁議会棟 2階 第2会議室
調査項目等	・新潟県女性議員の会総会・研修会への参加
概要	13:30～開会 ○令和6年度新潟県女性議員の会総会 ①来賓祝辞 ・新潟県知事：花角英世様 ・(公財)新潟県女性財団理事長：畠山典子様 ②来賓紹介 新潟県男女平等・協働参画統括監 ■■■■様 13:45～ ○議事 ① 令和5年度 事業報告、決算報告、監査報告 ② 令和6年度 事業計画(案)、予算(案) ③ 令和6年度 役員選出 ④ その他(産後、オンライン委員会を初めて行った荒木典子県議より報告) 14:30～ ○新潟県女性議員の会令和6年度研修会 「男女共同参画について市町村に期待すること」 新潟県知事政策局 男女平等・共同参画統括監 ■■■■様 I・県の取組



	Ⅱ・市町村に期待すること 「子育て支援に関する国・県の補助金について」 新潟県こども家庭課 課長 ■■■■様 ※別紙、資料添付。
所 感 等	○新潟県女性議員の会総会について ・花角知事からは、伸びようとする女性へは活躍できる場への後押しを支援すると共に、女性ということでの困難を抱えている人たちもいるので、そういう人たちへは引き上げるような支援を行っていくとの話があった。また、女性議員の会に対して、女性の視点を生かして男女ともに住みやすい街となるよう尽力して欲しいとの激励を頂いた。 ・畠山理事長からは、日本では社会で活躍する女性も年々増え家族の姿が多様化し、共働き世帯数は、専業主婦世帯数の3倍となったこと。若い世代の理想とする働き方、生き方が変わってきているとの話があった。 ・平成8年に設立したこの女性議員の会は、県議と市議と超党派で構成されたとても貴重な会と考える。より住みやすい新潟県となるよう、学び合い連携していきたい。 ・荒木県議より、全国で2例目となる産後オンラインでの委員会出席をした際の事前準備の大変さや、オンライン参加しての感想などを伺いとても勉強になった。こうして先陣を切って改革をしてくださる女性議員がいる事は大変心強く、この事例は、産後の女性議員だけでなく、介護で自宅を離れられない議員など、様々な場面でも活用できるのではないかと感じた。 ○研修会 「男女共同参画について市町村に期待すること」 ・市町村の男女共同参画計画の策定状況が、新潟県は70%と全国で下から4番目の低い現状がある。各般の行政領域にまたがる施策を、整合性をもって効果的に推進するためには、計画という手法が効果をもつので、まだの市町村はぜひ策定をして欲しいとの話が合った。また、市町村の審議会等委員に占める女性の割合や、防災・危機管理局における女性職員の割合、地方防災会議の女性委員の割合、地方防災会議で計画されている災害対策本部の本部員における女性委員の割合などにおいて、全国的に低い現状と、県内市町村のランキングがデータで示された。災害の多発する昨今、防災分野に女性が参画することの意義は大きいと考えるので、柏崎においても、割合を増やしていくよう提案していきたいと思った。 「子育て支援に関する国・県の補助金について」 ・国の方針を受け、新潟県でも、子育て支援に関する様々な補助金を用意している事を知った。当市で活用されていない補助金もあり、市民が本当に望んでいる支援に繋がるよう、国や県の支援についても学んで当市でも取り入れられる内容は提案できるようにしていきたい。